

施設名	今戸社会教育館		指定管理者の名称	株式会社 山武		
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
①業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事の施工、保守、輸出入並びに試験及び検査の請負等					
②類似施設の管理実績	平成 21 年 3 月 31 日現在 東京都北区滝野川体育館他 2 6 施設					
③経営状況		売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益	[単位：百万円]	
	平成 18 年度	67,640	53,489	14,151		
	平成 19 年度	71,441	54,176	17,265		
	平成 20 年度	68,965	53,056	15,908		
<b>2. 施設の概要</b>						
①所在地	台東区今戸 2-26-12 今戸住宅 2 階 待乳山保育園と併設					
②設置目的	区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を活発に行わせる。ラーニングスクエア等開設し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教養の向上に助力する。					
③利用者	・社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体。・教育委員会や社会教育館が行う事業に参加する区民。・その他一般団体。					
④開館日・開館時間	火曜日～日曜日 9:00～22:00、月曜日 13:00～22:00 休館日：祝日、年末年始(12/28～1/4) 20 年度開館日数：340 日					
⑤規模	ホール 50 人 第一会議室 30 人 第二会議室 40 人 和室 30 人					
⑥人員体制	週 40 時間勤務 3 人 週 30 時間勤務 2 人					
<b>3. 事業（サービス提供）の概要</b>						
①委託事業	1. 区民の生涯学習・社会教育活動への施設の提供 2. 生涯学習・社会教育活動に関する資料の収集及び学習情報の提供 3. 施設利用者の生涯学習・社会教育活動に対する指導、助言及び相談 4. 生涯学習ラーニングスクエアの実施					
②自主事業	4 講座実施 13 回 延参加人数：184 人					
<b>4. 施設の稼働状況等</b>						
		利用件数	利用人数	利用率		
平成 18 年度		825 件	11,510 人	20.9%		
平成 19 年度		923 件	13,289 人	23.6%		
平成 20 年度		997 件	15,386 人	25.5%		
<b>5. 予算決算の推移</b> (単位：円)						
年 度		17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
予 算	委託料		14,540,000	13,914,000	15,214,000	15,490,000
	料金収入等		2,200,000	2,500,000	1,200,000	1,100,000
	管理経費		16,740,000	16,414,000	16,414,000	16,590,000
決 算	委託料		14,540,000	13,914,000	15,090,000	
	料金収入等		1,002,820	1,102,790	985,555	
	管理経費		16,266,376	16,266,253	16,075,555	
	収 支		△723,556	△1,249,463	0	

6. 指標					
指標名称	単位	目標値 (22年度)	19年度	20年度	21年度 9月現在
利用率	%	26.0	23.6	25.5	23.4
利用件数	件	1,000	923	997	468
<b>6. 評価項目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>3：協定等の水準を上回っている。</li> <li>2：おおむね協定等の水準どおりである。</li> <li>1：協定等の水準を下回っている。</li> <li>－：評価対象外項目</li> </ul>					
評価の観点	評価項目				
①事業の運営 平均 [2.2]	(1) 施設の目的達成	[2]	(6) 開館時間等の遵守	[3]	
	(2) サービス水準	[2]	(7) 自主事業の成果	[3]	
	(3) 職員配置	[2]	(8) 個人情報保護	[2]	
	(4) 職員研修	[2]	(9) 緊急時対応マニュアル	[2]	
	(5) 案内・接遇	[2]	(10) 警備・防犯体制	[2]	
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1) 建物保守・設備機器点検	[2]	(5) 危険箇所等の確認	[2]	
	(2) 備品の管理	[2]	(6) 管理記録の作成・保存	[2]	
	(3) 清掃・衛生管理	[2]	(7) 業務委託の事前承認	[2]	
	(4) 施設の修繕	[2]	(8) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]	
③利用者の満足度 平均 [2.2]	(1) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(4) 利用しやすい環境整備	[2]	
	(2) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(5) 関係団体・地域との関わり	[2]	
	(3) 利用者数の目標達成	[3]			
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1) 適正な予算執行	[2]	(3) 収支計画の達成	[2]	
	(2) 経費縮減のための取組み	[2]	(4) 利用料等の徴収・管理	[2]	
<b>7. 評価</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>A+ (優良)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。</li> <li>A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。</li> <li>A- (課題あり)：協定等の水準をおおむね満たしているが、一部に課題がある。</li> <li>B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。</li> </ul>					
評価の観点	評価	説明			
①事業の運営	A+	自主事業の増加、充実により利用者数が増加傾向にある。また、開館時間である9時から利用者が施設を利用できるようにするため、規定時間前である8時30分から施設を開館している。			
②施設の維持管理	A	区からの申し出は社会教育センターの所長を通して対応できている。今後は社会教育センターと連携を取って、社会教育館が自主的に対応できるように取り組んでいく。			
③利用者の満足度	A+	利用者からは、おおむね良好な評価を得ており、利用率も平成18年度から約5ポイント向上している。			
④歳入歳出	A	歳出については適正に行われており、歳入は事業計画上の目標にかなり近づいているため、引き続き歳入確保の努力を行っていく。			
⑤総合評価	A+	自主事業の回数を増やしたため利用者数が伸びている。更に利用率が上がるよう、午前中のホールと和室の利用者拡大等、引き続き取り組んでいく。			
8. 課題への対応等					
指定管理者として引き続き3年間管理運営を行うことになったが、利用者の拡大のために広報活動を活発にするほか、自主事業の数を増やし内容の工夫を社会教育センターと連携して努力していく。					